

2016年8月12日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No.B-28)

「実践女子大生における授業外の時間の過ごし方の実態」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「時間の過ごし方の実態」についてのアンケート調査（実践『ペルソナ』通信（No.28））の結果をもとに、女子大生が授業外の時間をどこでどのように過ごしているかなどについてさらに深く調査しました。
※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、実践『ペルソナ』通信として公表された調査結果をもとに、写真観察を行い、さらに深く実態を考察した調査レポートです。

調査結果

<空きコマの過ごし方>

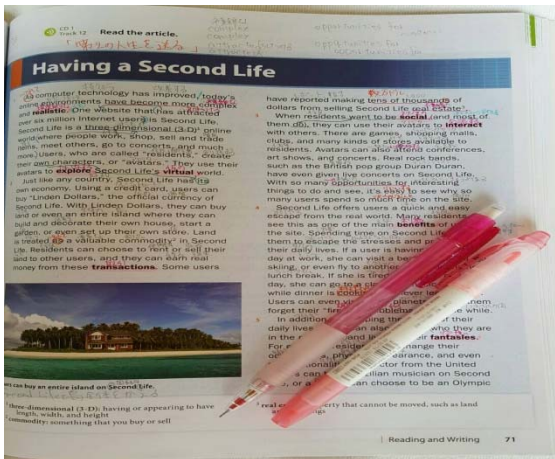
「友人とお喋り」



「カフェ又は外食」



「課題・勉強」



「課題・勉強(図書館)」



「友人,家族,一人で外食」



・考察<空きコマの過ごし方>

空きコマがどの数でも実践女子大生は課題・勉強に取り組む人が多かった。みんな自分の空き時間を上手く利用して課題や勉強をきちんとこなしているというように感じた。

カフェ又は外食は、2コマという空きコマ時間が長い特徴が出ていた。

<学校がない日>

「DVD鑑賞」



「趣味」



「友人,家族,一人で外食」



・考察<学校がない日>

居住形態で特徴が違った。一人暮らしの人は、買い物やバイト、家でのんびりして過ごしていることが多かった。実家暮らしの人は、バイトや家でのんびりしている人が多かった。

基本的には学校がある日と大きくは変わらない。バイトは居住形態に関係なくほとんど皆バイトをしていた。しかしDVD鑑賞は一人暮らしの人の方が多かった。これは自分の時間を自由に使えるという特徴が出ているのではないかと考えた。

調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年 相澤茉穂里

3年 玉井優理

3年 山田夏帆